

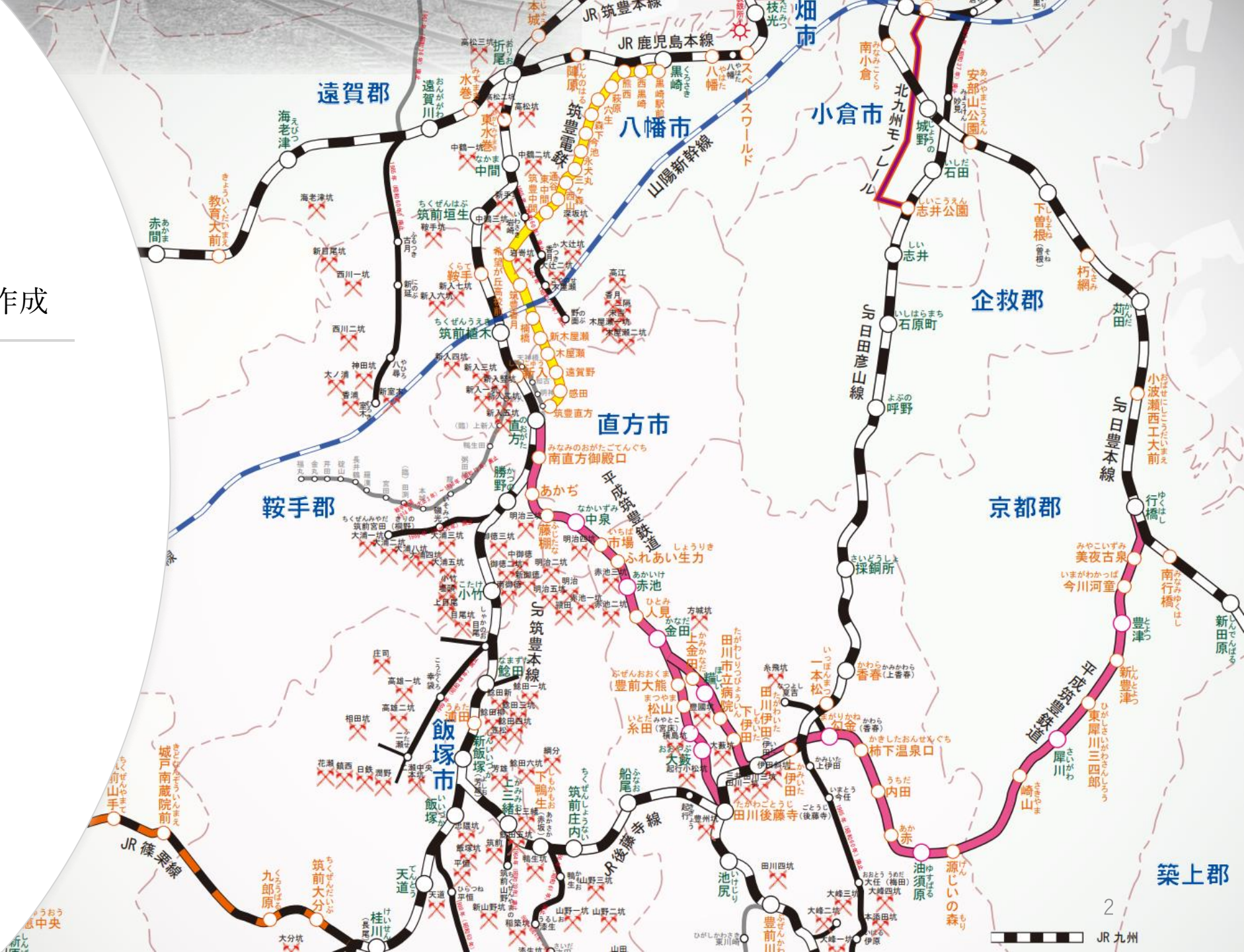
まとめ と 展望

佐藤達生

筑豊炭都鉄道路線図

昭和15年と平成27年

飯塚市観光協会作成

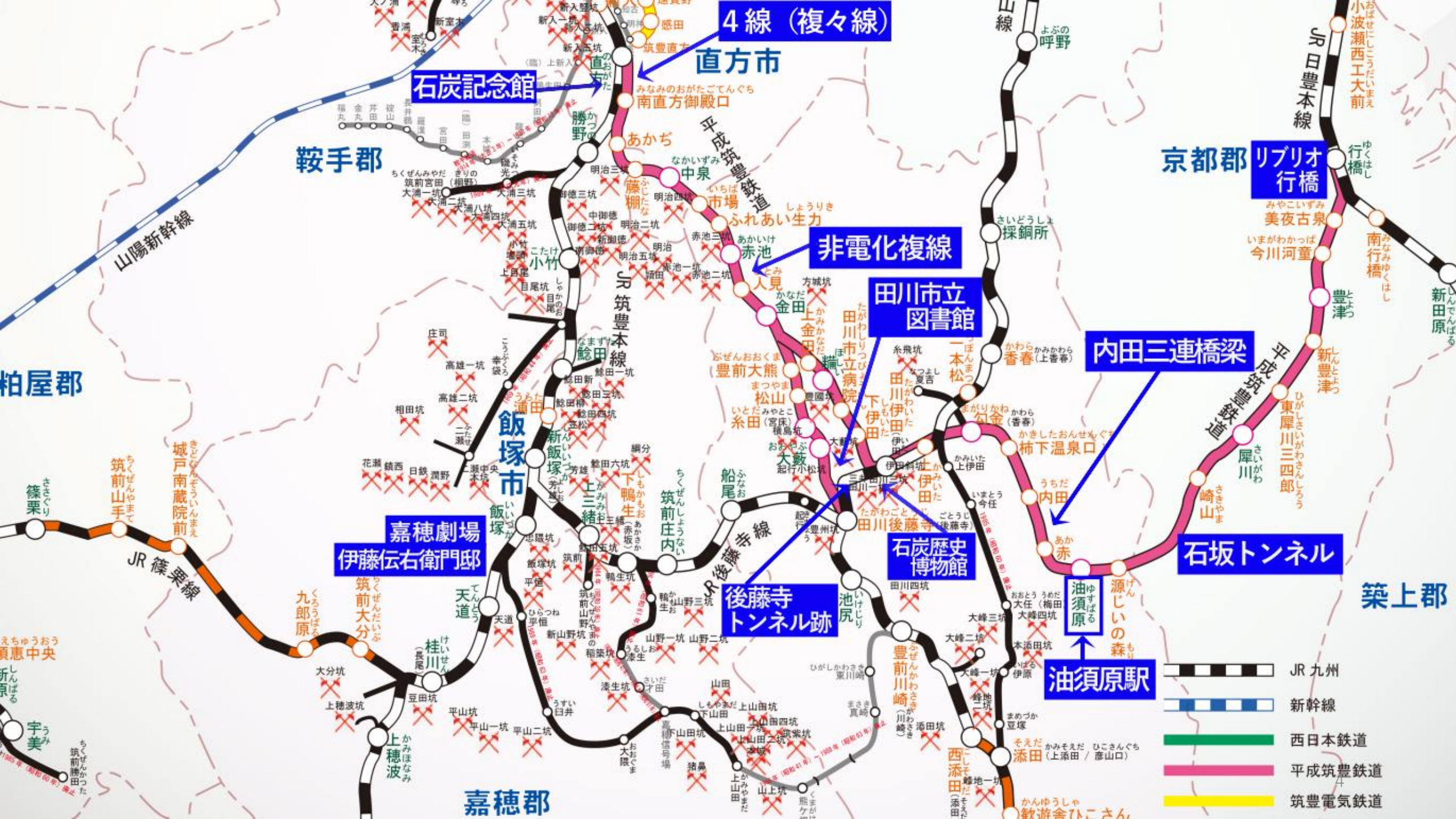


筑豊の鉄道関連産業遺産を訪ねる旅

ツアー同行ガイド
田川郷土研究会
中野直毅会長



2024年9月20日(金) 図書館総合展フォーラムin行橋開催予定
9月21日(土)～22日(日) ツアー催行予定



4線 (複々線)

直方市

石炭記念館

鞍手郡

京都郡

リプリア行橋

非電化複線

田川市立図書館

内田三連橋梁

石坂トンネル

築上郡

嘉穂劇場
伊藤伝右衛門邸

後藤寺
トンネル跡

石炭歴史博物館

油須原駅

嘉穂郡

粕屋郡

新原中央

宇美

筑前勝田

筑前勝田

第二石坂トンネル

平成筑豊鉄道田川線

崎山駅～源じいの森間

九州最古の鉄道トンネル（1895年開通）

将来の複線化を想定した幅員

登録有形文化財



平成筑豊鉄道 田川線 油須原駅

九州最古の木造駅舎

1895（明治28年）建築の駅舎と
長大な石炭貨物列車が交換するための
長いホームが現在も使用されている



内田三連橋梁

平成筑豊鉄道田川線
赤駅～内田駅間

将来の複線化を考慮して、
増備側を煉瓦を交互に積む
「下駄ッ歯」構造とした

コンクール作品関連

登録有形文化財

近代化産業遺産



後藤寺隧道(トンネル)跡

JR日田彦山線

田川伊田駅～田川後藤寺駅間

田川市役所近傍

コンクール作品関連





田川市石炭・歴史博物館 炭鉱住宅(復元)



近代化産業遺産

山本作兵衛コレクション-炭坑記録画

田川市石炭・歴史博物館蔵



昭和37年2月、田川市立図書館館長の永末十四雄が作兵衛と知り合い、作兵衛ノートと作兵衛画のもつ資料的価値に目をつけ、自ら作兵衛ノートの筆写にかかる一方、田川郷土研究会が昭和39年6月から始めた「炭坑資料を集める運動」への協力を求め、これに快く応じた作兵衛は、同年11月から23枚のスケッチブック（縦25.5センチ、横35.5センチ）に水彩画でヤマの子ども達の絵を描いて市立図書館に寄贈した。
（田川市HPより）

ユネスコ世界記憶遺産

永末十四雄が「郷土田川」23号に発表した〈川筋気質〉は「青春の門（筑豊編）」に引用された。

料亭あおぎり



炭都繁栄の象徴。
大正初期建造の庄屋造りの
本館（大正初期建造）、
昭和9年に初代田川市長林田
春次郎氏の迎賓館として建
造の別館から成る。

登録有形文化財

複線非電化区間



平成筑豊鉄道伊田線 田川伊田駅～直方駅



国指定史跡

近代化産業遺産



旧伊藤伝右衛門邸



近代化産業遺産

本フォーラムとツアーの目的

20世紀の貸出数を指標とする評価法から、法整備に伴い
「集客力」や「まちづくり」「にぎわい創出」に軸足が移行する

コロナ禍で露呈した矛盾からの原点回帰

本質的な機能によって地域に貢献する行動計画の提案と実行

図書館は
人を集める
道具じゃない



情報のちからで
地域に貢献しよう

今回の例示モデル

